

令和6年2月14日開催  
調 査

# 総務教育常任委員会資料

- 調査事件 6 福島松前間防災道路実現に向けた取り組みについて …… 3
- 調査事件 7 定住促進住宅整備事業について …… 7

企 画 課



## 調査事件 6 福島松前間防災道路実現に向けた取り組みについて

### 1 松前半島道路の現状と課題について

国道 228 号は、松前町と福島町を結ぶ重要な基幹道路となっており、地域の医療及び物流などの交通を支える唯一の幹線道路で、地域住民の生活を支える根幹的な社会基盤として、産業、経済、文化の振興に欠かすことのできない重要な役割を担っております。

しかし、特に松前町白神・福島町松浦間は、急峻な地形と津軽海峡に面した海岸線に位置するため線形が悪く、台風や低気圧による大雨や大しけ、落石などにより、度々、通行止めが発生し、その都度、町民の多くは上ノ国経由で迂回を余儀なくされている状況にあります。

また、道南の物流や交通の拠点となる空港、港湾といった重要な施設や救急医療の拠点となる高次医療施設が函館市に集中しており、松前町から木古内町に至る区間については、救急医療や災害時など緊急に対応できる代替路線が確保されておらず、通行止めが発生すると大幅な迂回を強いられる現状にあります。

このような状況を解決するとともに、北海道新幹線開業を契機に地域の活力を高め競争力ある地域社会を実現するためにも、高速道路を基軸とした道南地域の高速交通ネットワークの整備が必要であります。

松前半島道路は、平成 10 年 6 月に地域高規格道路の「計画路線」に指定され、令和 3 年 4 月には新広域道路交通計画において「高規格道路」に位置付けられたところであります。

この間、平成 26 年 11 月に 2 市 4 町により「松前半島道路建設促進期成会」（以下「期成会」という。）が設立され、関係機関等に対し早期建設促進に向けた要請活動を行ってきたところであります。

#### ○令和 3 年度、令和 4 年度の通行止めの状況（福島町松浦～松前町白神）

日 時	内 容
R3. 1. 29 14:30	越波（30 日 12:00 解除）
R3. 7. 17 19:00	覆道内コンクリートブロックの落下（18 日 22:00 解除）
R4. 8. 11 20:30	大雨による土砂流入（12 日 14:00 解除）

## 2 一般国道228号白神防災事業化に向けた活動について

松前半島道路の要望活動は期成会による活動を中心に行ってきましたが、ここ数年はコロナ禍の影響を受けて、令和2年度及び令和3年度については、書面による要望となりましたが、令和4年度は7月20日に期成会による東京要望を実施しております。なお、松前半島道路の整備促進にあたっては、町民や渡島西部4町の思いとしては、速達性及び定時制の確保の観点から国道228号と別線である自動車専用道路を主として要望してきたところであります。

しかしながら、全国、全道にも同様に整備しなければならない道路は数多くあり、松前半島道路全体の調査費を要望していくことは優先度の関係から困難な状況が続いていたのも事実であります。

このような状況を打破するため、町では松前町と共同で、知内町と木古内町の理解を得ながら、松前半島道路のうち通行止めなどの状況が著しく頻発する松前町白神・福島町松浦間について、防災事業を優先し事業の早期着手について期成会を中心に要請活動を進めた結果、令和5年度新規事業に採択されたところであります。

### ○令和5年度の活動状況

#### (1) 事業推進に係る要請活動

日 程	要 請 先	要 請 者
R 5. 4.13 ～ 14	国土交通省道路局・北海道局、 財務省主計局	鳴海町長 石山松前町長
R 5. 4.20 ～ 21	函館開発建設部、北海道開発局	鳴海町長
R 5. 4.24	国土交通省北海道局、参議院議員会館	鳴海町長 福島町議会
R 5. 6.28	北海道開発局	渡島総合開発期成会
R 5. 7.28	国土交通省北海道局、 衆・参議院議員会館	渡島総合開発期成会
R 5. 9.25	衆・参議院議員会館	鳴海町長
R 5.10.20	国土交通省道路局・北海道局、 財務省主計局	道南道路4期成会
R 5.11.16 ～ 17	国土交通省道路局・北海道局、 財務省主計局	鳴海町長 石山松前町長
R 6. 1.12	函館開発建設部	鳴海町長
R 6. 1.29	衆・参議院議員会館	鳴海町長

(2) 事業推進に係る関連会議への出席状況

日 程	会 議 名	出 席 者
R 5. 5. 29	北海道道路整備促進協会通常総会	鳴海町長
R 5. 5. 30	北海道道路利用者会議定期総会	鳴海町長
R 5. 10. 19	北海道道路利用者会議全国大会	鳴海町長
R 5. 11. 1	北海道「命のみち」づくりを求める全国大会	小鹿副町長
R 5. 11. 8	安全・安心の道づくりを求める全国大会	鳴海町長

3 令和5年度一般国道228号白神防災事業（事業主体：函館開発建設部）の実施内容について

一般国道228号白神防災対策の新規事業化に伴い令和5年7月18日に吉岡総合センターにおいて、「白神防災道路計画説明会」が開催され、事業概要や今後のスケジュール等についての説明がされました。当日は、吉岡地区住民を中心に25名の出席をいただいております。また、翌日には同様の説明会が松前町でも実施されたところであります。

なお、防災道路整備に向けたルートの測量等に要する事業費として、令和5年度予算として5千万円が確保され、道路設計に必要な基礎資料を得ることを目的としたドローンを使用したレーザ測量調査等が実施されており、令和6年度においても継続して必要な調査を進めていく予定となっております。

4 今後の取り組みについて

防災対策の事業促進、早期完成に向けて、引き続き、国土交通省（北海道局長、道路局長）、財務省（主計局長）等に対し、松前町と福島町との合同要請活動を継続し、来年度予算の確保を図ることで早期実施に向けた活動を展開してまいります。

松前半島道路全体の整備要望については、自動車の通行を想定している第2青函トンネル構想（以下「第2トンネル」という。）を進めるにあたっては、第2トンネルに接続する高速道路網の整備は必須であります。

そのため、第2トンネルの実現に向けた議論を進めながら松前半島道路の必要性を並行して訴えていくことが必要になってくるものと思われまので、期成会及び第2青函トンネル構想を実現する会と連携を図りながら要請に努めてまいります。



## 調査事件 7 定住促進住宅整備事業について

### 1 定住促進住宅について

当町は、昭和30年以降人口が減少傾向となっておりましたが、昭和50年代に青函トンネル工事の影響により人口が増加に転じております。しかし、その後、工事の完了による工事関係者の大量の転出により、急激な人口減少となっております。

近年は、減少傾向が続いておりますが、減少幅は少し鈍化している傾向が見られます。

当町の人口減少の特徴の一つに、少子高齢化に加え、全国のトンネル工事に従事している子育て世帯が、子どもの高校進学とともに、函館市や北斗市に家族で移転するケースが多くあり、減少に拍車をかけております。

このような状況を踏まえ、町では、地域全体で子育てを応援、支援するため、子育て世帯に重点を置いた政策に予算を配分し、「保育料の無料化」、「給食費の無料化」をはじめ、「出産祝金の支給」、「高校生までの医療費の無料化」、「子育て支援センターの増築」等により、子育て環境の充実に取り組んできたところであります。

これらの政策の効果が徐々にではありますが出てきておりますが、人口減少は続いている状況にあり、魅力ある子育て環境の充実が必要であり、子供を安心して生み育てる住環境を整備することで、子育て世帯の定住促進を図るものであります。

なお、令和6年度の建設に向け、令和5年度は基本設計・実施設計業務を進めております。

### 2 建設に向けたニーズ調査の結果について

建設に係るニーズを把握するため、令和4年1月に令和4年4月2日現在で15歳以下の子どもがいる世帯（142世帯）に対し、ニーズ調査を実施した結果が次のとおりとなっております。

○回答率 48.6%（69世帯）

質問内容	回答	
あなたの現在の居住形態は	一戸建て（持ち家）	22世帯
	一戸建て（家族所有）	21世帯
	一戸建て（賃貸）	11世帯
	アパート	1世帯
	公営住宅	7世帯
	社宅（独身寮・教員住宅など）	5世帯
	その他	0世帯

質問内容	回答	
現在の住宅に満足していますか	満足している	39世帯
	満足していない	30世帯
満足していない理由は	住宅が狭い	6世帯
	住宅が古い	14世帯
	市街地から遠く買い物等が不便	4世帯
	勤務地から遠く通勤に不便	0世帯
	その他	5世帯
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が狭くて行き止まり。所有者不明の崩れかけの車庫があり危険。</li> <li>・子どもの通院に不便</li> <li>・子どもが小さいので、ご近所に迷惑をかけないように音など気を付けているが、できれば気にしないで遊ばせたい。</li> <li>・仕事が終わって、家事など夜のうちに済ませたいところだが、騒音なども気になりできないので、気にせずできればと思う。</li> <li>・水道凍結が冬季に頻繁に起こること、雪かきが大変なこと、家の中が寒いこと</li> </ul>	
あなたはどの様な居住形態を望んでいますか	一戸建て（持ち家）	21世帯
	一戸建て（家族所有）	6世帯
	一戸建て（賃貸）	0世帯
	アパート	6世帯
	公営住宅	0世帯
	社宅（独身寮・教員住宅など）	1世帯
	その他	0世帯
あなたはこれからも福島町に住み続けたいと思いますか	住み続けたい	15世帯
	どちらかといえば住み続けたい	32世帯
	いつかは町外に引越すと思う	20世帯
	近々町外に引越す	2世帯
賃貸方式の「子育て世帯向け定住促進住宅（平屋建て）」を整備した場合、住みたい希望はありますか	希望がある	23世帯
	希望はない	46世帯



### 3 建設に係るコンセプトについて

令和6年度に建設を予定する定住促進住宅は、北海道が進める「ゼロカーボン北海道」並びに「脱炭素」をキーワードに、道が推奨する断熱性・気密性の高い住宅「北方型住宅 ZERO」と同等の基準とし、また、再生可能エネルギー（太陽光パネルの設置）の導入を行い、世界的に進む「ゼロカーボン」の方向性に沿った住宅としております。

今後、定住促進住宅をモデルに、町内において同水準の住宅が新築されることで、少しずつ「脱炭素」に向けたまちづくりが進んでいくことを期待しております。

### 4 建設に係る事業費及び平面図について

建設に係る事業費については、次のとおりとなっております。

なお、建設する間取り等については、3つの案から子育て中の職員及び会計年度任用職員から意見をいただき、修正を加えて決定しております。

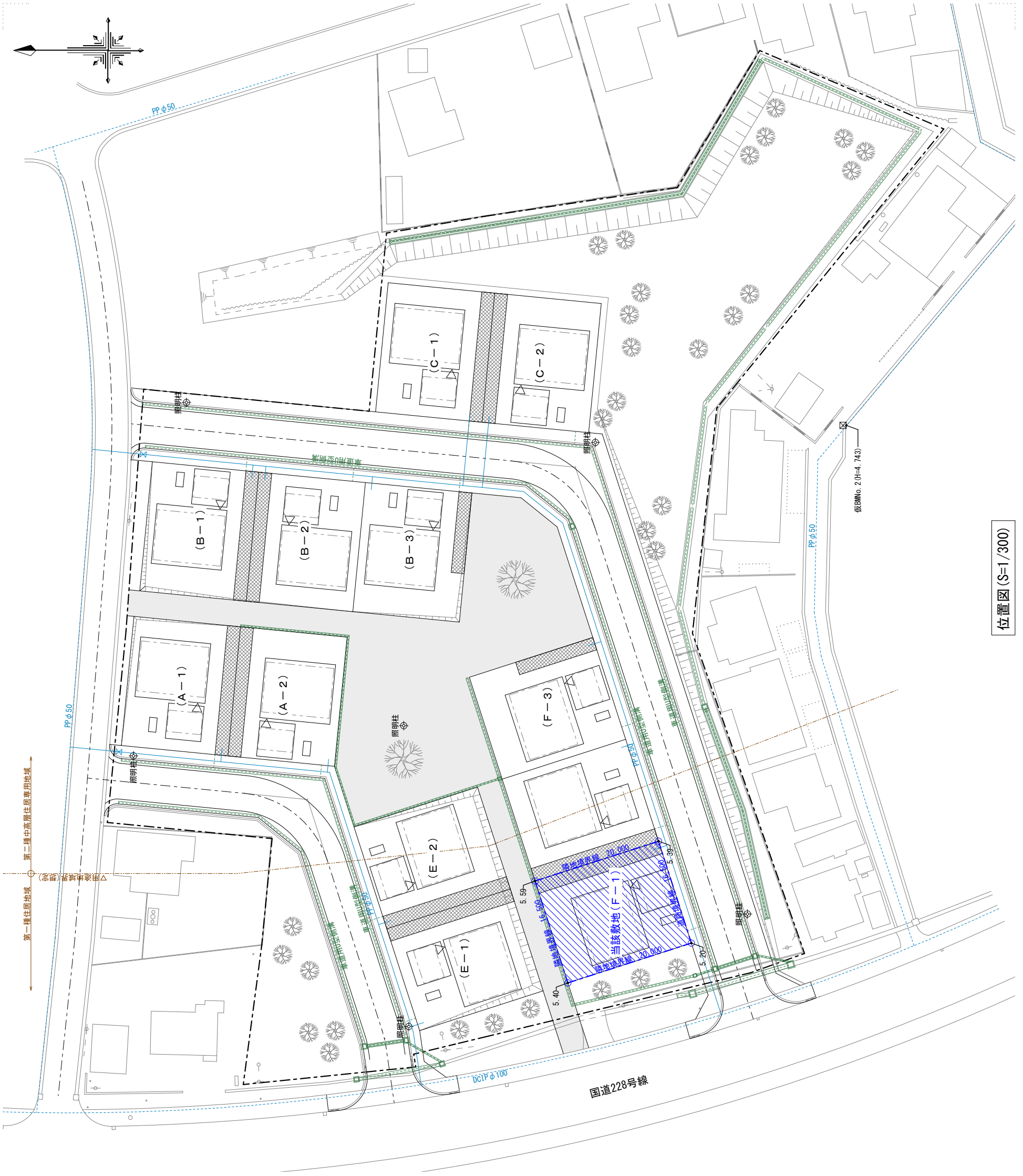
予算科目	金額	内訳
工事請負費		
建築工事	28,518千円	
電気設備工事	4,040千円	
機械設備工事	5,006千円	
直接工事費	37,564千円	
経費込み	54,310千円	
税込み	59,741千円	
役務費	47千円	確認申請手数料 28千円 完了検査手数料 19千円
委託料	3,772千円	建設工事監督支援業務委託料 2,222千円 工事監理業務委託料 1,000千円 芝生等管理業務委託料 550千円
計	63,560千円	財源内訳 道補助 10,000千円 過疎債 47,200千円 一般財源 6,360千円

平面図等は、「別紙1 定住促進住宅建設工事（R6棟）」のとおりです。

## 5 今後のスケジュールについて

建設に向けた今後のスケジュールは次のとおりとなっております。

時期	内容
令和6年 3月	定例会3月会議に関連予算を提案
5月	入札、仮契約事務
6月	定例会6月会議において、契約議決を提案 議決後、本契約
12月	定例会12月会議に管理条例を提案
令和7年 1月	入居募集開始（広報ふくしま掲載）
4月	入居開始

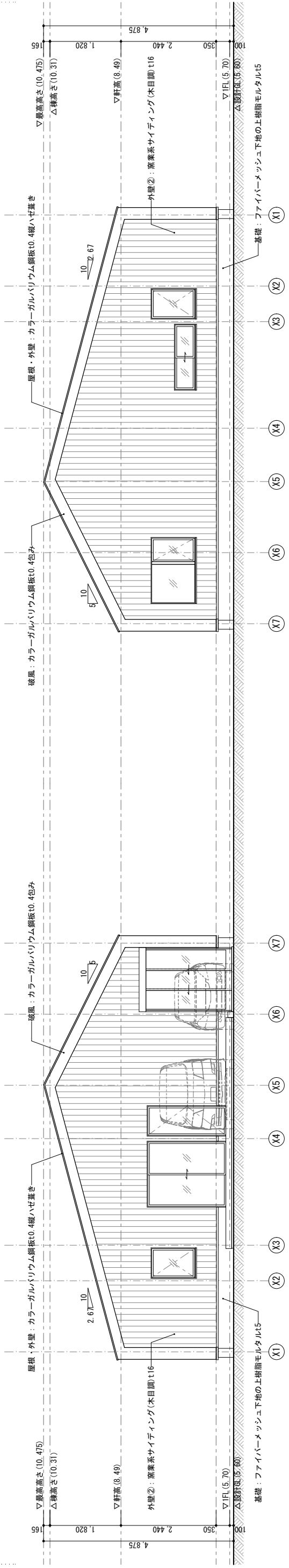


■敷地概要 (F-1 区画)	
地名地番	松前郡福島町字三岳02番地1外
都市計画区域	都市計画区域内 (市街化区域)
用途地域	第一種住居地域
防火地域	指定なし
その他	法第22条区域
敷地面積	330.00㎡
前面道路幅員	南側 : 11.000m
接道長さ	南側 : 16.500m

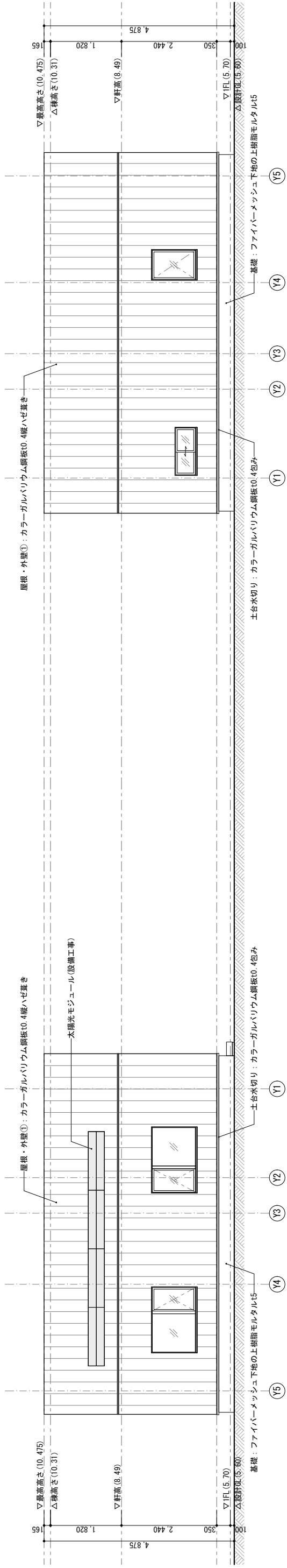
  

■建築概要 (F-1 区画)	
建物用途	(08010)一戸建ての住宅 (定住促進住宅)
消防法上の建物用途	一般住宅
構造	木造
階数	平屋建て
建築面積	112.30㎡
延べ面積	112.30㎡
建築率	34.03%
容積率	34.03%



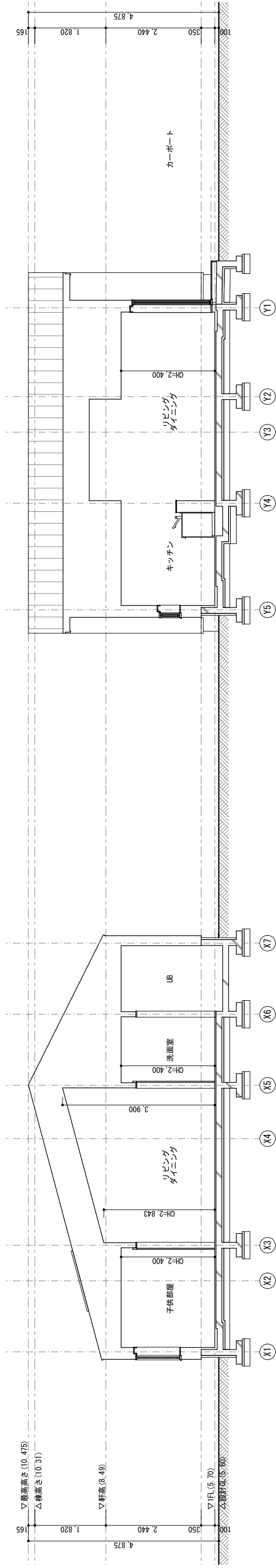


南立面図(F-1区画)

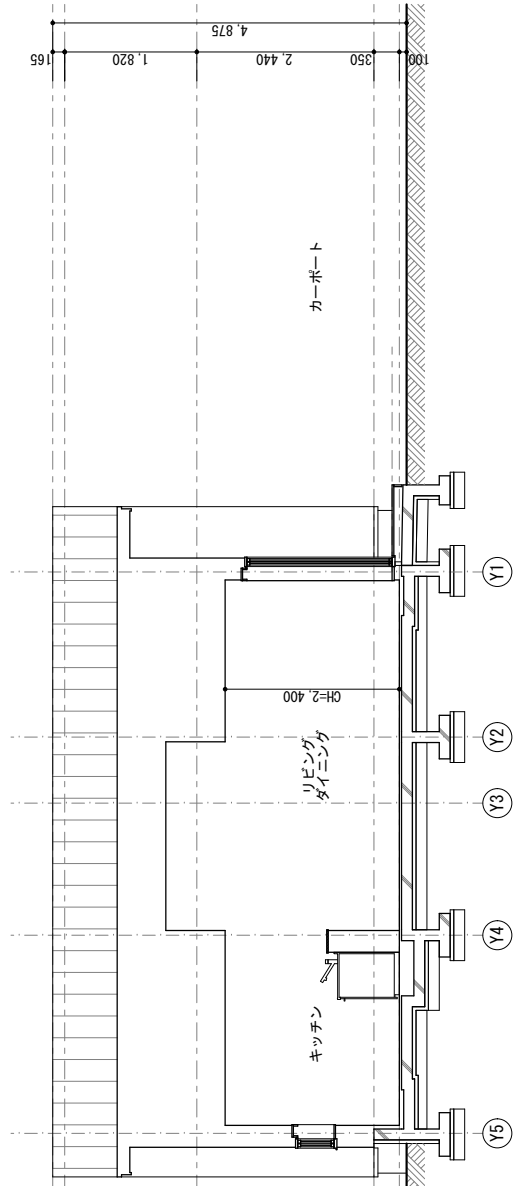


北立面図(F-1区画)

西立面図(F-1区画)



断面図1(F-1区画)



東立面図(F-1区画)

断面図2(F-1区画)